

# 新宿 ビズタウンニュース

目次

新宿区の印刷関連業に新しい風! ..... 1-3

活き活き企業FOCUS ..... 4-5

インフォメーション ..... 6-8

新宿区中小企業の景況 ..... 8

No. 22  
平成25年9月30日号

## 新宿区の印刷関連業に新しい風!

「東京都印刷工業組合新宿支部」「東京都印刷工業組合城西支部」「東京グラフィックサービス工業会新宿支部」「東京都製本工業組合新宿支部」「東京グラフィックコミュニケーションズ工業組合Bブロック」「東京都正札シール印刷協同組合城西支部」より成る新宿区印刷・製本関連団体協議会(通称:印刷・関連協)は、新たな受注創出を目的に平成25年3月に一般社団法人化し、その活動をスタートしています。

代表理事に今後の抱負を伺い、特徴ある4社を訪問してきました!

### 一般社団法人化を機に、業界活性化のため受注創出活動を推進します

「現在力を入れているのは、加盟する320社の連携を密にする仕組みづくり。」

「大手印刷会社の下請け仕事のみならず、小規模印刷会社でもお客様から直接受注を拡大し、経営を安定させるためにはどうすればよいか。新宿区の地場産業である印刷関連業を活性化させたい、という強い気持ちから、それまで任意団体であった印刷・関連協の一般社団法人化に奔走したのが、代表理事を務める加藤仁さんです。」

「今までは十分な仕事量が確保できていたので、営業活動をしなくても個々の会社は成り立っていました。が、これからは自分たちの仕事をきちんと世の中にアピールしなければ立ち行かなくなります。それにはただ受注を待つだけではなく、発注してもらえるようなアイデアを提供し、注文を取りに行くような仕組みを考えたいと思います。新宿区内の会社が力を合わせ、協力して仕事を創出する取り組みは欠かせないと考えたのです。」



一般社団法人 新宿区印刷・製本関連団体協議会代表理事 加藤 仁さん



8月20日に開催された社団法人化を記念してのセミナー

「『結』ネットワークと名付け、加盟企業それぞれの専門領域や得意分野を互いに活用し合い、各々の強みを活かした協業体制の構築を目的に踏み出しました。」

「近年は多品種少量生産のニーズが高まっていますが、技術の進化によって、少ない部数でも早く、美しい印刷が可能になり、特殊印刷でも小ロットから対応できるようになったことは追い風でもあります。『結』ネットワークをうまく活用できれば、大規模な仕事でも数社で分担して取り組むことができます。一社ずつの規模は小さいけれど、顧客の要望には柔軟に対応できるといった、新宿ならではの付加価値を提供できる印刷ネットワークを目指します。2020年の東京オリンピックも決定しました。受注拡大をめざし、新宿の印刷関連業を盛り上げていきたいと思っています。」

## 株式会社 CBJスクラッチ

所在地 新宿区新小川町5-4 1階  
電話 (5206) 6521  
代表者 星野 昇

# 小ロット印刷を可能にした 新しいスクラッチ印刷



代表取締役 星野 昇さん

「もつとスクラッチを身近な存在にしよう」と開発したのが、オンデマンドスクラッチ。1000部程の小ロットでも手軽にスクラッチ印刷ができるようになります。これまで「話すのは、開発者で

銀色の部分を硬貨で削ると、隠された文字などが見えるようになるスクラッチ印刷。セールやキャンペーン、チラシなどでよく見かけるおなじみの特殊印刷です。CBJスクラッチではさらに進化させた「ステルス・スクラッチ技術」を開発し、特許を取得。大手コーヒーチェーンのキャンペーンで利用されるなど、新しい印刷方法として注目を集めています。

ステルス・スクラッチは、白い紙に酸化チタンを含んだ白いインクを重ね、そこに定着力の強いイエロー(Y)で隠ぺい模様を重ねます。酸化チタンは紙に付着すると硬くなるため、コインで削っても削りカスは出ません。削ったあとにはイエローと白いインクが残って文字が見える仕組みです。

ある星野昇代表取締役。同社では、大手ペンメーカーと共同開発した専用ペンとオンデマンドスクラッチ専用台紙をセットで販売予定。台紙に専用ペンで文字や絵を書いて印刷するだけで、スクラッチが作れるようになります。

小ロット印刷が可能になったことで、大きな設備をもたない小規模印刷会社でも、スクラッチ印刷に対応できるというメリットが生まりました。

「希望する会社にステルス・スクラッチのノウハウを伝えていきます。今ではおよそ18社と提携し、小ロットから大部数まで幅広いニーズに応えられる体制が整ってきています」

小ロット印刷が可能になったことで、大きな設備をもたない小規模印刷会社でも、スクラッチ印刷に対応できるというメリットが生まりました。

ある星野昇代表取締役。同社では、大手ペンメーカーと共同開発した専用ペンとオンデマンドスクラッチ専用台紙をセットで販売予定。台紙に専用ペンで文字や絵を書いて印刷するだけで、スクラッチが作れるようになります。



白い紙に酸化チタンと隠ぺい模様を重ね、そこに原稿を写してつくる「オンデマンドスクラッチ」

## アドしんじゅく 株式会社

所在地 新宿区天神町64 プラスパービル  
電話 (3235) 3305  
代表者 氏家 真二

# 新しい印刷技術で 町の活性化に役立ちたい



代表取締役 氏家 真二さん

にも印刷ができるので、見栄えが良くなるうえ情報量も増えます

「ポイント画面印刷ができること。例えば、お店のショーウィンドーにシールを貼ると、裏面には通常、接着面が見えるだけですが両面印刷なら接着面側

神楽坂にほど近い場所に会社を構える同社が目指しているのは、地域に根ざした印刷会社です。氏家真二代表取締役は理想とする会社のあり方を模索していました。「印刷を通じて町を活性化するにはどんな方法があるのだろうか」と、地域に役立つ新しい印刷技術を検討してきました。

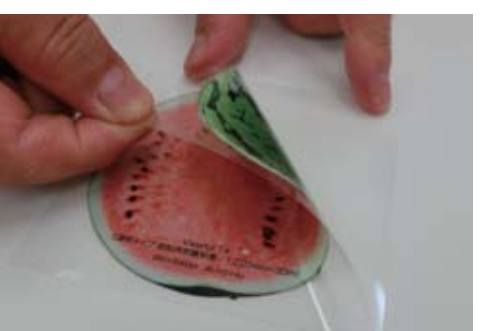
そこでスタートしたのが「アドフィクス」と名付けられた新サービス。1m60cmまでの大きなサイズを出力できる新型印刷機は、紙やシールはもちろん、スチレンボードや段ボールなど、厚さ13mmまでの材料であれば直接印刷することが可能。UVインク印刷にも対応します。UVインク(紫外線を受けると硬化するインク)を使用するため短い期間での納期にも対応します。

「アドフィクス」は、紙やシールはもちろん、スチレンボードや段ボールなど、厚さ13mmまでの材料であれば直接印刷することが可能。UVインク印刷にも対応します。UVインク(紫外線を受けると硬化するインク)を使用するため短い期間での納期にも対応します。

「近所の印刷屋さんにご相談すれば大丈夫、と地域の商店の皆さんから思ってもらえる存在になりたいんです。アドフィクスを手軽に利用していただき、商売繁盛のお手伝いができれば、こんなに嬉しいことはありません」

同社ではデザインから印刷、そして現場での施工まで一括で引き受けられる体制が整っているため、余計なコストがかかりません。低コストでサービスを提供できるため、予算をかわられない個店でも季節に応じて店頭デザインを変更できると同社では考えています。

また、地震対策としてガラス面に貼り付けることで、万一の際にはガラスの飛散防止にも効果を発揮します。



透明シールの両面印刷を実現。ガラス面に貼って、内側・外側の両方から違う情報を発信することができます



株式会社 紙宇宙

所在地 新宿区下宮比町2-14 飯田橋KSビル2階  
電話 (3513) 5810  
代表者 山崎 勝利

ペーパークラフトで  
情報発信の可能性を追究



取締役企画開発部長 楠田 信太郎さん

多様な  
ズは多種  
で、二一  
具模型ま  
寸大の家  
いった実  
テレビと  
のモデル  
ルームに  
置くベッ  
ドや

かつてペーパークラフトといえば子ども向け雑誌の付録がほとんどでしたが、経済の低迷、少子化の進行により雑誌の発行部数は減り、紙を使った付録も少なくなっています。「しかし、付録は紙の文化です。何とかそれを後世に残して行くためにも事業として成り立たせたい。そんな思いから編集プロダクションの事業として立ち上げたのが弊社創業のきっかけでもあります」

「この秋開催の『スポーツ祭東京2013』応援グッズとしてたためるうちわやメガホンなどもつくりました。特許や意匠登録をしたオリジナル製品もあります。『東京スカイツリー』のお土産用紙模型も私たちがつくったものです。平面で持ち帰ることができないので、かさばらないお土産としても喜ばれています」



10月開催「スポーツ祭東京2013」の応援グッズもつくりました

特に引き合いが多いのは、製品の販売促進で用いるノベルティグッズ。海外の宝飾メーカーから依頼を受け、本物のクリスタルガラスを組み込んだ飛び出す招待状を製作するなど、同社の高い技術力が評価されています。紙は加工がしやすく誰でも簡単に扱えることができる素材。紙の可能性はまだまだ広がります。

「この秋開催の『スポーツ祭東京2013』応援グッズとしてたためるうちわやメガホンなどもつくりました。特許や意匠登録をしたオリジナル製品もあります。『東京スカイツリー』のお土産用紙模型も私たちがつくったものです。平面で持ち帰ることができないので、かさばらないお土産としても喜ばれています」

有限会社 真美堂 手塚箔押し所

所在地 新宿区天神町66  
電話 (3269) 0656  
代表者 手塚 博雄

箔押し加工の技術が  
「点字印刷」に発展



取締役社長 手塚 博雄さん

ある日本  
点字図書  
館に通い  
はじめた  
んです」  
従来の

箔押しはもともと、雑誌・書籍の装丁や辞書の背表紙等に使用され、最近では箔押しが装飾に使われることもあります。しかし印刷物自体が少なくなってきたいなかでこの技術をもっと他に活用できないだろうかと思われ、雄取締役社長は考えました。そんなある日、目に留まったのは新聞の記事でした。「点字印刷の普及版ができた」という記事を見つけたんです。ならばうちにある機械でも応用できるのではないかと考え、高田馬場に

箔押しとは、型で色のついた箔を押し当てる加工のこと。箔を使わず型を押し付けて模様を紙に残すのが浮出・空押し。真美堂手塚箔押し所では1957年の創業以来、こうした加工を専門としてきました。印刷業界では作業工程の電子化が進んでいますが、箔押しはまだまだ手作業が必要な職人技の領域です。



文字と点字がバランスよくレイアウトされたパンフレット

「点字印刷事業をスタートしてから14年。儲かる仕事ではありません。しかし、この仕事の社会的意義は決して小さくない。目が不自由な人の暮らしに、少しでも役に立てたらと思っています」

点字印刷機は構造上、A4サイズまでしか印刷することができませんでしたが、紙のサイズに関係なく印刷できるように箔押し用の機械を改良。全自動輪転機を使うことで1日に1万枚の印刷が可能になりました。そのほかにも、名刺などに感謝の気持ちを点字で表現する「ありがとーの点字運動」の発起人としての活動や、視覚障害者に限らず、晴眼者も手で触って認識しやすい「フォアフィンガー書体」の開発・普及への参加など、さまざまな分野にチャレンジしてきました。

## 陸上養殖の普及で安全・安心な魚介類を食卓に届けたい

### 地域振興の新しい観点を発見する

株式会社アイ・エム・ティー代表取締役の三上恒生さんは以前、地方都市に賑わいを取り戻す地域振興事業に関わっていました。リゾート開発や工業団地の整備といった仕事です。が、バブル経済の終焉と同時に行き詰まりを感じ、地方だからこそできる事業は何か？と模索した結果、日本にとって大きな課題でもある食料生産に着目したそうです。

### 安心・安全を担保できる魚介類を生産

食の安全性への関心が高まる近年、我が国でもオーガニックの肉や野菜は市場に流通していますが、欧米諸国ではすでに安全な魚介類への関心も高まり陸上の水槽で養殖していることを知りました。生産過程を



代表取締役 三上 恒生さん

すべて把握できることは、消費者への安全な供給につながるかと考えたそうです。

三上社長はドイツからその技術を導入し、日本国内でいち早く実証実験をスタート。平成16年から「屋内型エビ生産システム（ISPS）」として販売を開始しています。

「ISPSの利点は薬を一切使用せず淡水でエビを育てられることです。水は循環利用でき、一度水槽を満たせば蒸発分を補うだけで充分。また、排水は農業用水としても使えますから環境にやさしい設備と言えます」

国土が海に囲まれている日本では養殖場に事欠かないイメージがありますが、潮の流れが激しい場所ではイケスを組むことができません。海面養殖に適しているのは、波が穏やかな湾のような場所です。天然物の魚が人気なのは外海の厳しい潮の流れに逆らって泳ぐため、身が引き締まるからだといいますが、それを養



ISPSで生産された身が引き締まった「妙高ゆきエビ」

殖でも実現できるように開発されたのがISPSなのだそうです。

同社が提供するISPSの水槽は50mプールほどの大きさがあります。特殊装置により波を発生させ、その流れのなかで育てたエビは、引き締まったプリプリした食感になります。また、エビの生育中に生じる食べ残しの餌やフンは堆積によって水質を悪化させますが、ISPSでは水槽の底がすり鉢状になっており、底に溜まった堆積物をまとめて回収できるため、きれいな水質を保つことができます。

### 課題をクリアして多くの家庭に届けたい

ISPSで養殖したエビは、すでに新潟県の地元企業が「妙高ゆきエビ」のブランド名で販売をスタートしています。主な取引先は食の安全に敏感なイタリアンやフレンチといった洋食店ですが、和食店にも「養殖

だからこそ追求できる安全性」を訴えていきたいそうです。同社は平成22年に「新宿区ものづくり産業支援補助金」(※)を利用して、水中に酸素を効率よく供給する技術の実証実験も行いました。

「今後はISPSの設備投資費用を低くし、技術開発をさらに進め、日本のみならず水不足で困っている国や海のない国にも、この技術を広めていきたいです」。



ISPSの生産施設は約800坪。必要となる敷地規模は約1300坪

### ※新宿区ものづくり産業支援事業補助金

新宿区内の『ものづくり産業』を支援するため、新製品・技術開発事業や販路開拓事業を行う中小企業等に対して補助金を交付する制度です。



## 時代を読み、お客様の期待を超えるサービスを提供する



代表社員 税理士 理事長 前沢 永壽さん

### 拡大志向を持つことの大切さ

マエサワ税理士法人が創業したのは昭和48年のこと。現理事長である前沢永壽さんが始めた小さな事務所でした。現在ではスタッフ49人を抱え、700社近い顧客から信頼を寄せられる税理士法人に成長し、若い人材を積極的に登用しています。その原動力はどこから来るのでしょうか。

「私がこの仕事を始めたのは20代の頃。もっぱら税務の仕事が中心でした。当時、私と契約をしてくれた経営者は同年代の方が多く、彼らは真剣に『儲けるためにはどうすればいい?』と相談してきました。そのやり取りを通じて、自分が仕事を続けて行くためのビジョンが明確になっていきました。大切なのは拡大志向です」

### 社会が要求していることを分析できる能力

良い人材を集め、良い立地に会社を構え、頑張った社員にはきちんと給料を上げる。そのためにはきちんと儲けなければいけない。この当たり前の考えに行き着くなかで、前沢さんは他の税理士法人にはない付加価値の必要性を痛感したそうです。

「税理士の仕事は『帳簿をまとめること』だけでは決してありません。税理士として通り一遍の仕事をして、評価してくれる顧客はいません。他社と異なる取り組みをして、初めて認めてもらえます」。前沢さんが語る異なる取り組みとは、経営判断に役立つ情報を的確に分析し、提供することです。

顧客のニーズは時代とともに変わっていきます。昭和の頃には「もっと儲けたい」と考えていた企業も、平成に入ってから

「損をせず儲けたい」という発想に変わりました。経済の潮目が変わるなら、税務・会計を扱う人間も変わらなければならぬ、と前沢さんは言います。そこで、毎週月曜の午前中は全スタッフを対



毎週月曜日の午前中に実施される研修会。講師は前沢さん自身が務める

象にした研修を実施。講師は前沢さん自らが務めています。

「中小企業の経営は学校で学んだ知識がそのまま当てはまらないことが多い。経営者たちがビジネス環境をどう捉えているか、我々が把握できていなければいけません」

社会が税理士法人に求めているものは何か? これを同社では「マエサワイズム」と呼び、新人からベテランまで徹底的に鍛えられるそうです。

### 「マエサワイズム」を若い人材に継承していく

時代の流れをいち早くくみ取り、税理士業務のみならず経営改善や企業再生、事業承継といった中小企業向けの経営コンサルタント業務が中心となった同社。弁護士やM&A仲介業者等とも連携して顧客ニーズに

対応すると同時に、計画的な人材育成まで実践する前沢さんの取り組みが評価され、平成23年度「新宿区優良企業表彰」(※)で優秀賞を受賞しました。

「広い視野をもって、税理士法人に求められる以上のものを顧客に提供する。このイズムを若い皆さんにきちんと継承していくのが、私の務めです」



座右の銘としている「経営の心得」の書。書き込みがたくさんあります

### ※新宿区優良企業表彰 (新宿活き活き経営賞)

経営革新、経営基盤強化等の取り組みにより優れた実績を上げ、地域産業の発展と向上に貢献した中小企業に対し、東京商工会議所新宿支部と新宿区が表彰する制度です。

# 商店街空き店舗活用支援融資

区内の商店街に活力ある事業者を呼び込み、賑わいあふれる商店街を創出するための中小企業向け制度融資です。

商店街の空き店舗を活用して創業する事業者や、空き店舗を改修して貸し出そうとしている貸主（オーナー）に対し、区では一般の創業資金や店舗改装資金より有利な利子及び保証料の補助を受けることができる融資の紹介を行っております。

融資を希望する方は、産業振興課で面談を受けていただきます（予約制）。

利用要件等詳しくは、お問い合わせください。

## 創業資金（借主特例）融資制度

- 対象者 区内の商店街にある空き店舗（※）を借りて、新たに店舗を出店し、創業しようとする方
- 融資限度額 1,000万円（既に創業しており、5年未満の方は2,000万円）
- 返済期間 7年以内（うち据置期間12か月以内）
- 貸付利率 2.1%以下
- 利子補給 2.1%以下（本人負担なし）
- 信用保証料補助 支払った信用保証料の全額を補助

## 店舗改装資金（貸主特例）融資制度

- 対象者 区内の商店街で不動産賃貸業を引き続き1年以上営業しており、区内の商店街に空き店舗（※）を所有し、その店舗を改修して貸し出そうとしている貸主（オーナー）の方
- 融資限度額 1,500万円
- 返済期間 8年以内（うち据置期間6か月以内）
- 貸付利率 2.1%以下
- 利子補給 2.1%以下（本人負担なし）
- 信用保証料補助 支払った信用保証料を上限40万円まで補助

※空き店舗＝「1か月以上商業活動を行っていない店舗」

【問合せ先・面談予約】 地域文化部産業振興課 電話（3344）0702

営業代行業務、売上拡大支援等  
無料で支援します！

## 新宿区中小企業 経営力強化事業

区では、区内中小企業の営業代行業務等、売上拡大支援を行うことができる企業を6月20日から7月19日の間に公募し、下記を委託先企業として選定いたしました。

**ビートレード・パートナーズ株式会社**

<http://www.btdp.co.jp/>

こちらの企業に営業代行業務、売上拡大支援等を依頼したい区内中小企業は、産業振興課までお問い合わせください。支援を受けるための費用は無料です。

**支援対象者** 区内中小企業者、  
個人事業主、商店等

【問合せ先】 地域文化部産業振興課  
電話（3344）0701

## 「公益通報」をご存じですか

公益通報とは、労働者が勤務先やその役員等の法令違反行為について、一定の要件を満たす場合に勤務先、行政機関、第三者のいずれかに通報する制度です。

新宿区では、区の事業や区の職員とのやりとりの中で「法令違反ではないか」と思われる場合の通報や相談について、弁護士である公益保護委員が受け付けています。区の制度の特徴として、労働者である区の職員からのみならず、区民や事業者の方からの通報や相談も、広くお受けしています。また、公益通報制度のご相談もお受けします。秘密は厳守します。安心してご相談ください。

### 公益保護委員（相談先・区または区の職員に係る公益通報の通報先）

- |                     |   |
|---------------------|---|
| なかむら まさと<br>中村 雅人   | 〒105-0001 港区虎ノ門1-4-5 文芸ビル8階<br>ヒューマンネットワーク 中村総合法律事務所 電話（3501）8822 |
| くわばら しゅうせい<br>桑原 周成 | 〒130-0022 墨田区江東橋2-14-7 錦糸町サンライズビル8階A<br>下町の太陽法律事務所 電話（6659）3113   |
| おおた はるお<br>太田 治夫    | 〒100-0006 千代田区有楽町1-6-4 千代田ビル7階<br>日比谷見附法律事務所 電話（3595）2064         |

また、毎月第4木曜日、午後2時から4時までは、区役所の専用の相談室でも相談をお受けしています。当日直接、新宿区役所第一分庁舎2階区民相談室へ。相談は、公益保護委員が交代で担当します。

【問合せ先】 総務部総務課総務係 電話（5273）3505



高田馬場創業支援センターが開設2周年

「高田馬場ビジネスサミット2013」開催のお知らせ

～巷ちまたでよく聞く“イノベーション”について考える～

高田馬場創業支援センターでは、「巷でよく聞く“イノベーション”について考える」をテーマに「高田馬場ビジネスサミット2013」を開催します。

事業に取り組む方であれば、一度は聞いたことのある言葉“イノベーション”。身近な事例を交えて、明日から具体的に実践・活用出来るよう、識者をお招きして講演とケーススタディを行います。

起業を目指す方はもちろん、第二創業、事業継承(経営革新)を目指している方、事業者の方にとっても役立つ機会です。ぜひご参加ください。

【日 時】平成25年11月2日(土) 13:30～受付

【会 場】新宿区立高田馬場創業支援センター  
(高田馬場1-32-10)

【対 象】起業予定のある方、起業したての方、事業者  
(要事前申込み、先着30名)

【参加費】無料

【主 催】新宿区

【後 援】東京商工会議所新宿支部

申込み締切  
10/25(金)  
必着

【内 容】

①「創業する時に知っておきたい“儲かるイノベーション”“会社を潰すイノベーション”」 14:00～15:00

◇講師：辻井 啓作氏

1969年京都府生まれ。立命館大学法学部卒業後、大手証券会社、東京都中小企業振興公社を経て、中小企業診断士として独立。その後、調査研究業務への事業拡大を機に「(有)ともえ産業情報」を設立。本業の産業調査で高い評価を受けるとともに、大学の教壇に立つなど経営者から学生まで幅広く指導している。専門は中小企業経営、中小企業政策、商業集積、中心市街地活性化、非常



営利法人など。

②「イノベーションを実践するために必要なこと～事例：高田馬場創業支援センター～」 15:15～16:15

◇パネラー：辻井 啓作氏(基調講演 講師)

村上 晴美氏(株式会社アクシー 代表取締役、当センター利用終了者)

早川 由美氏(オフィスLibra代表、尚美学園大学芸術情報学部非常勤講師、当センター利用終了者)

◇聞き手：福田 稔 (新宿区立高田馬場創業支援センター 施設長、JBIA認定シニアIM)

今秋に当センターの利用を終了し、事業拡大のため新たに事務所を構える二人の起業家と当センターのインキュベーションマネージャーによるパネルディスカッション。起業家それぞれの事業に対する取り組みを紹介しつつ、イノベーションを実践するために必要なこと「きっかけ、場、環境、人との繋がり」などについて、実体験に基づく本音を伺います。

【申込み・問合せ先】 新宿区立高田馬場創業支援センター

電話(3205)3031 FAX(3205)1007 メールアドレス incu@shinjuku-center.jp

※住所・氏名・連絡先(当日連絡のつく電話番号等)・開業もしくは起業予定の年月をご記入ください。

当日でも  
ご参加できます!

新宿ビジネス交流会 開催のご案内

～「新宿区優良企業表彰」受賞企業とともに～

●日 時 平成25年11月19日(火) 14:00～17:00

●会 場 BIZ新宿(新宿区立産業会館)1階 「多目的ホール」「展示ホール」

●プログラム <第一部 14:00～15:00> 基調講演「売上向上のための交流会を120%活用する方法」

講師/秋山 一雄氏(株式会社IAC 代表取締役社長、中小企業診断士)

<第二部 15:00～16:00> 参加企業プレゼンテーション

(事前申込み企業による)

<第三部 16:00～17:00> 交流会・名刺交換会

●参加費 無料(1社2名まで)

●主 催 東京商工会議所新宿支部 新宿区



【問合せ・申込み先】 東京商工会議所新宿支部 電話(3345)3290

販路拡大、売上増加のチャンス! 貴社の逸品を今こそ売り込みましょう!

# 参加企業募集中 新宿商談会

新宿区では区内産業の活性化を目的に、バイヤーを招聘し個別商談会を開催します。この機会に貴社の商品をエントリーしませんか。

- 日 時 平成26年2月6日(木) 13:00~17:00
- 会 場 BIZ新宿(新宿区立産業会館)
- 対 象 食品・非食品に関連した企業
- エントリー期限 11月15日(金) 必着

※申込み方法等の詳細については、お問い合わせください。

- 主 催 西京信用金庫、東京三協信用金庫、興産信用金庫、さわやか信用金庫、城北信用金庫、昭和信用金庫、巣鴨信用金庫、西武信用金庫、東京信用金庫、東京シティ信用金庫、東京東信用金庫、日本政策金融公庫、新宿区

【問合せ先】 地域文化部産業振興課 電話(3344)0701

● 参加申込みから商談会までの流れ



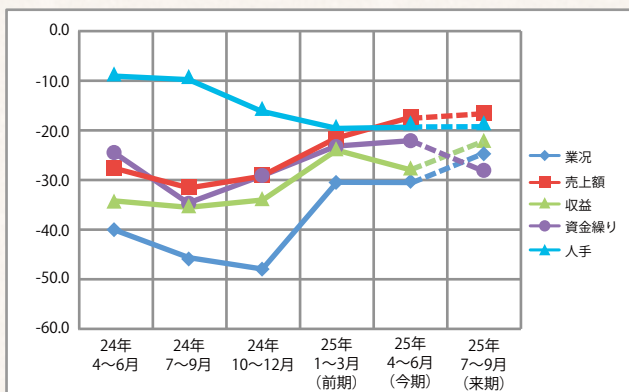
## 平成25年4月~6月期

### 新宿区中小企業の景況

新宿区では区内中小企業に対する「景況調査」を年4回実施しています

1. 調査時期 平成25年6月下旬
2. 調査方法 郵送アンケート調査
3. 調査対象業種 製造業(55件)、印刷・同関連業(38件)、染色業(17件)、建設業(60件)、情報通信業(55件)、卸売業(61件)、小売業(83件)、飲食・宿泊業(68件)、不動産業(59件)、サービス業(89件)  
※カッコ内は有効回答数
4. 調査機関 (株)東京商工リサーチ

#### ●項目別D.Iの推移(全体)



業況: 経済全体の景気状態ではなく、個々の企業ないし産業の景気状況。  
D.I(ディーアイ): Diffusion Index(ディフュージョン インデックス)の略で、増加と答えた企業の割合から、減少と答えた企業の割合を差引いた数値のこと。D.I値がマイナスの場合、業況・売上額・収益・資金繰りは不調傾向を、人手は不足傾向を示す。

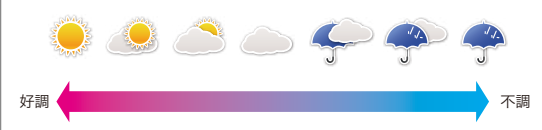
#### ●4月~6月期の特徴

業況D.Iは-30.4と、前期(平成25年1月~3月)の-30.6と同様の厳しさが続いた。平成24年4月~6月から平成24年10月~12月にかけての3期連続悪化から前期は大幅に改善し、今期は横ばいで推移した。来期(平成25年7月~9月)の見通しは-24.5と、改善する見込みとなっている。

#### ●業種別調査結果(4月~6月期)

製造業	印刷・同関連業	染色業	建設業	情報通信業
☔	☔	☔	☔	☔
卸売業	小売業	飲食・宿泊業	不動産業	サービス業
☔	☔	☔	☁	☁

#### 景況調査の読み方



※景況調査の詳細は、新宿区ホームページをご覧ください。